

## 広域科学専攻「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」事後報告書

(生命環境科学系 佐々木研究室 博士1年 三谷諒)

本報告書は、標題の助成を受け、American college of sports medicine annual meeting 2024 へ出席した際のレポートである。学会は2024年5月28日から5月31日までアメリカ合衆国のボストンで開催され(写真1)、世界中の研究者が幅広く参加する国際会議であった。私は全日会議へ参加し、最終日にはポスター発表を行った(写真2)。私にとって、初めての海外および国際会議出席であり、不安と緊張も大きかったが、世界中の研究者と議論する大変貴重な機会となった。

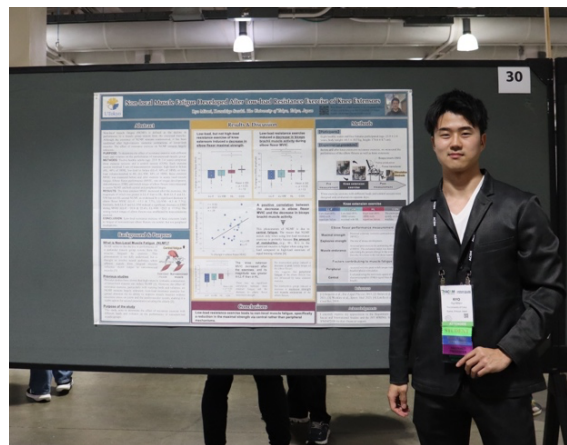
特にポスター発表においては、普段の筋生理学を主とした研究者とは異なる視点を持つ参加者からのコメントも数多く頂き、意義深いものとなった。私は「Fatigue and Performance」のカテゴリーで「Non-local muscle fatigue developed after low-load resistance exercise of knee extensors」という題で発表した。そこでは、低負荷トレーニングが高齢者にも適用できる点や、負荷の違いによる疲労の遠隔効果の違いについて多くのフィードバックを受けた。特に、運動を行っていない筋で生じる遠隔疲労が低負荷トレーニングで生じる理由や、そのメカニズムについての視点の異なる議論は大変有益であった。また、今後の研究方向性についても新たな視点を獲得することができた。今回の機会を活かし、自身の研究へさらなる発展を加えたい。

国際会議への出席を通じて、これまでに行ってきた研究成果を世界に発信する難しさを痛感した。英語での議論となるとうまく聞き取れなかったり、言葉に詰まったりと普段は日本語で議論できていることが思うようできないこともあった。一方で、議論の最後に、「Your study is interesting」「Good job」など自身の研究の面白さや意義が世界にも伝わったと実感できたことは何よりも嬉しかった。

最後に、この度貴重な機会を頂くに至り、広域科学専攻の助成に感謝の意を表します。また、お忙しい中、細やかに助力頂いた佐々木先生と、日程の多くをご同行いただいた早稲田大学の草深さん、東京大学博士課程の桶川さんへ、心より感謝申し上げます。



View Boston から見たボストンの街並み



ポスター発表の様子